

「個別最適な学び」をめざし、
発達特性から学習カリキュラムと合理的配慮を明確にする



A²『個別の教育支援計画』ツールより

A² [支援のための発達アセスメント]

岩山 カイナ

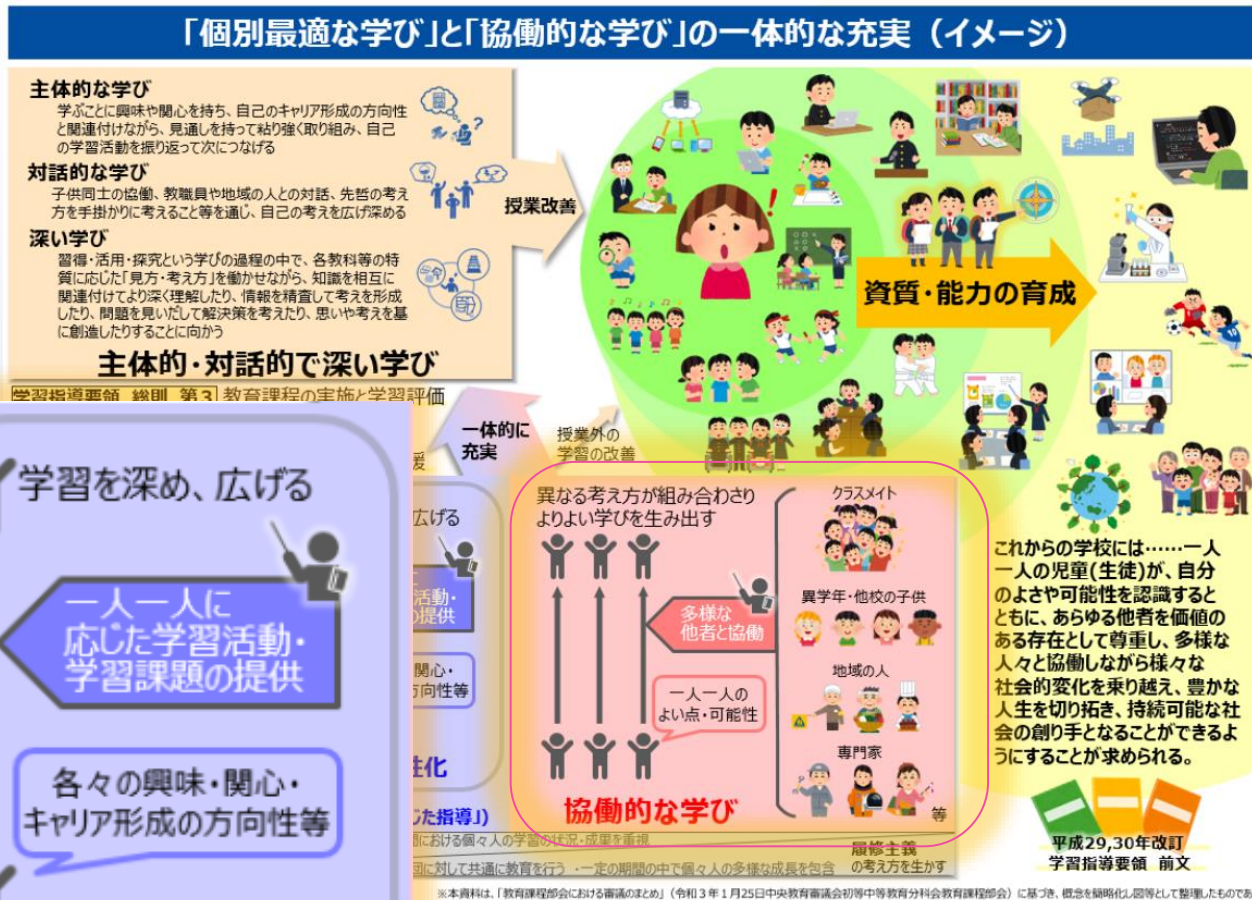
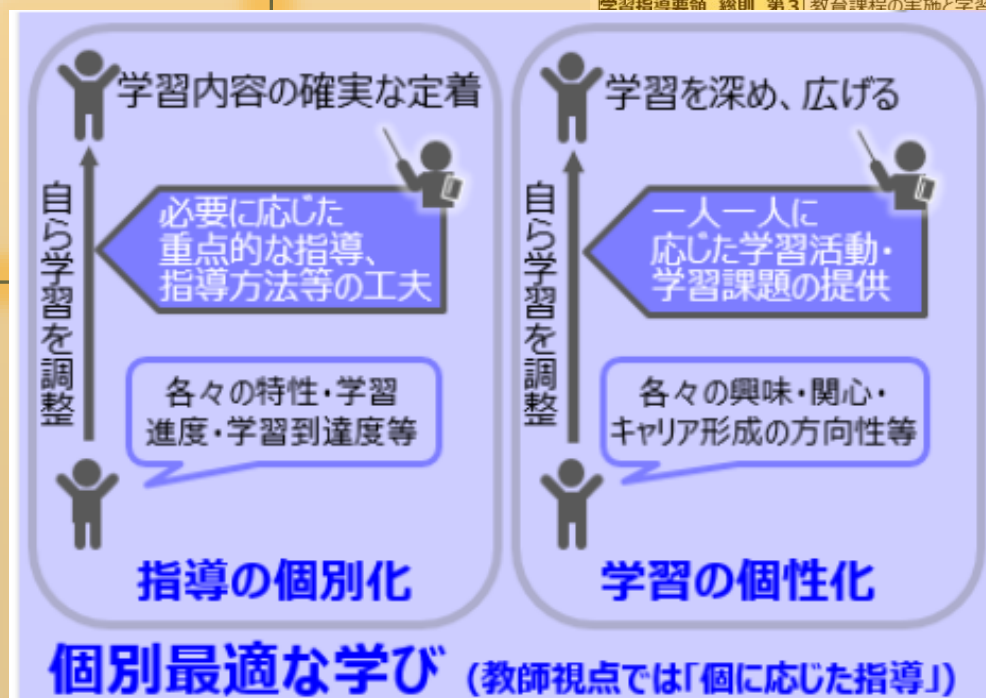
大阪府立出来島支援学校

A²研究会: a2iepss@gmail.com

「個別最適な学び」をめざして

個別最適の具体化

- 学習カリキュラム
- 学び方
- 表現方法
- 合理的配慮



これからの学校には……一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようすることが求められる。

平成29,30年改訂
学習指導要領 前文

Assessment
A²
Accommodation
『個別の教育支援計画』ツール
新任からできる実態把握 ぜひご活用ください

支援計画の作成で、目標設定や評価に悩んでいませんか？ 「A² 個別の教育支援計画」は現場の先生方をお助けする便利ツールです。実態把握（新学習指導要領に対応した発達アセスメント）から合理的配慮を導き出すと共に、子どもの経年変化を記録することができます。

① 支援のための「発達アセスメントツール」としての活用

発達段階を選び、クリックするだけ！

新学習指導要領の段階分けにも活用可能

「得意」と「課題」をその場で視覚化！

② 「合理的配慮のアイディアリスト」を参考資料として収録

実態把握レーダーや子どもの課題に応じて、適切な配慮をらくらく検索！

- ③ 「校内／他機関連携」を強化
- ④ 「実態～目標～支援～評価」の関連性を深化
- ⑤ 3～18歳までの「経年変化」を把握
- ⑥ 「愛着・情動面の支援ニーズ」に対応

※ 様式は、幼保・小・中高に対応しています。



エーツ

A²『個別の教育支援計画』ツール

A² (ASSESSMENT AND ACCOMMODATIONS)

個別最適な学びと「意思決定」の支援

編集：A²研究会
 監修：佐藤克敏（京都教育大学）ら
 アドバイザー：Victoria Tarango（東ロサンゼルス大学）
 研究指導：川合紀宗（広島大学）

協力：平成30年度～令和元年度 大阪府教育委員会
 支援教育地域支援整備事業 大阪市ブロック
 大阪府立支援学校、大阪市内幼稚園/小中学校

「個別の教育支援計画」は インクルーシブ教育システムの鍵

アメリカのIEP (Individualized Education Program/Plan)

アメリカでは、子どものニーズに応じて、どのような配慮や支援を受けることができるのか、保護者が学校と契約を結びます。内容は、支援内容や方法のみでなく、カリキュラムの調整も含まれます。

子どもの適切な教育・支援を受ける権利を守るために、IEPの内容が適切に実行されているかを監視する行政機関が、教育機関とは別に設置されています。

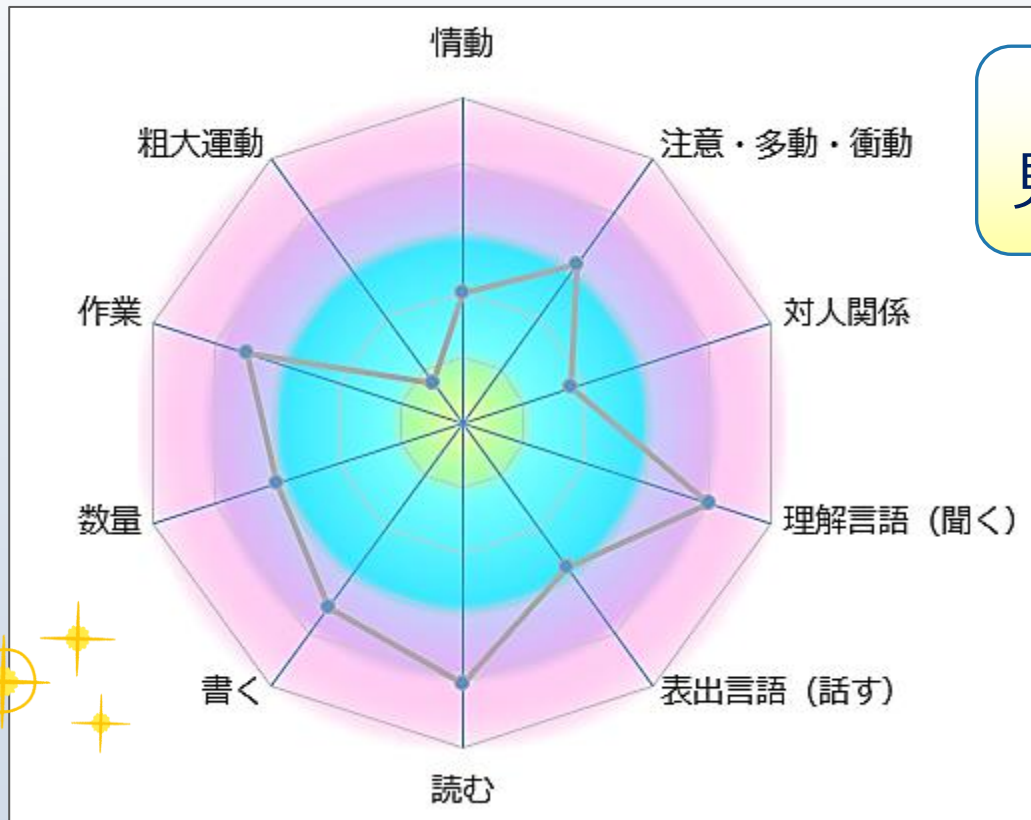
また、IEPは、連動する客観的なアセスメントに基づくものである必要があるとされています。



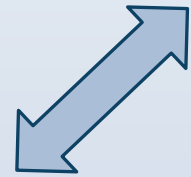
支援者チームの共通理解ベース作り



A2 [支援のための発達アセスメント]



実態 (学校)
見える化 → 共通理解



連携

A²『個別の教育支援計画』 ツール の特徴

① 【支援のための発達アセスメント】

- ・ 学習指導要領の段階、自立活動の区分

2つの
メイン機能

② 【合理的配慮アイディアリスト】

- ・ ICFの視点の重視（社会参加への配慮）



日米の大学教授の
協力の基に作成

③ 幼稚園・保育所／小学校（特別支援学校 小学部）／

中学・高校（特別支援学校 中学部・高等部）多校種対応

④ 指導・支援の評価を毎年で確認（3～18歳まで）

⑤ RTIモデルの活用と他機関連携

⑥ 情動面（行動/感情/情緒）の支援ニーズ考慮


ツールを活用して、 指導者チームの 共通理解ベースを作る ☺

➡ 「意思決定」の支援

事例・目標・支援方法  担当 _____ [様式 2]

本人/保護者の願い	[内容] - 集団活動への参加が苦手な子どもが多い。今後の目標設定や、授業に前向きな姿勢で取り組んでほしい。			地域生活/社会生活の 様子・課題	日程 _____
評価の 記録	【学習動作】 発話・行動	【自己肯定と 社会性】 情緒・行動 友人関係	【生活 技能】 表現	発達支援 の支援方法	
発達のための発達アセスメント					
アセスメントシートや観察記録から見る 強み・課題 (チャートの凸と凹)	強み	課題	強み	課題	
発達に期待する 事項	行動	友人関係	社会・運動・家庭性	その他 特記事項	
評価可能な 項目(強)	発話	社会・運動・家庭性	その他 特記事項		
支援がほしい 点や、改善点	- 見て理解することが得意 - 自分で考えながら、作業に取り組む			改善点に期待がたい 領域・特記事項	

評価のため
支援のための発達アセスメント

事例・目標・支援方法  担当 _____ [様式 2]

本人/保護者の願い	[内容] - 集団活動への参加が苦手な子どもが多い。今後の目標設定や、授業に前向きな姿勢で取り組んでほしい。			地域生活/社会生活の 様子・課題	日程 _____
評価の 記録	【学習動作】 発話・行動	【自己肯定と 社会性】 情緒・行動 友人関係	【生活 技能】 表現	発達支援 の支援方法	
発達のための発達アセスメント					
アセスメントシートや観察記録から見る 強み・課題 (チャートの凸と凹)	強み	課題	強み	課題	
発達に期待する 事項	行動	友人関係	社会・運動・家庭性	その他 特記事項	
評価可能な 項目(強)	発話	社会・運動・家庭性	その他 特記事項		
支援がほしい 点や、改善点	- 自分で理解できているが、言葉が通じずわからないことが多い。 - 手先が器用で、動作が好き - 文字認識が上手で、絵画も書くことができる			改善点に期待がたい 領域・特記事項	

強み・長所を確認
⇒支援・指導に活用

A²：環境との相互作用で
子どもを見る

A²【支援のための発達アセスメント】

©A²研究会

A²『個別の教育支援計画』アセスメントの用語説明

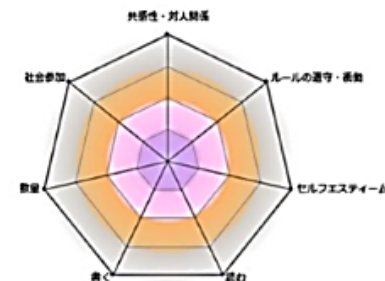
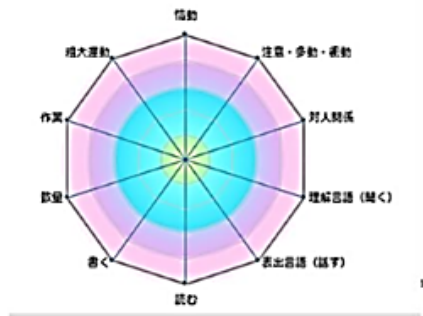
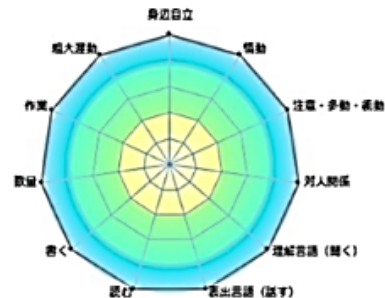
0～5歳程度までの
知的発達段階

↑
より実態が見え
やすいものに変更

4～10歳程度の
知的発達段階

↑
より実態が見え
やすいものに変更

知的発達の遅れが
顕著ではない10歳以上



身辺自立

トイレ・着替え・食事など、身辺処理
情動

感情・行動・情緒・集団参加

注意・多動・衝動

注意のコントロール・多動性・衝動性

対人関係

社会性・共感性・集団学習

理解言語 (聞く)

集団場面の中で聞く力・言葉の理解

表出言語 (話す)

意思を伝えるスキル・集団場面での表出

読む

文字やシンボルからの理解

書く

書字・漢字

数量

算数・量的な知識と理解

作業

微細運動・手と目の協応・手の巧緻性

粗大運動

身体全体を使った動き・協調運動

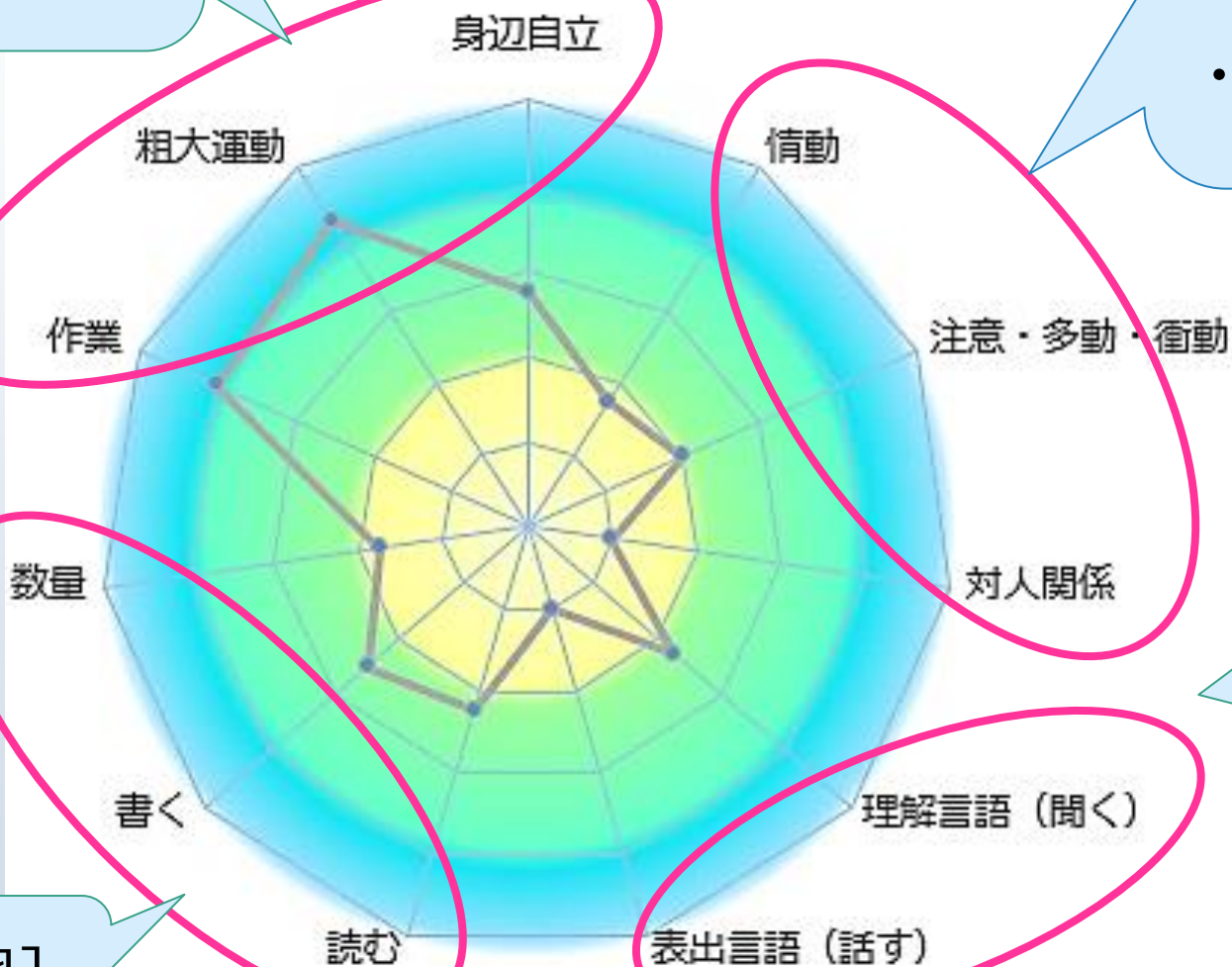
【領域の構成】

[生活動作]

- ・ 身辺自立
- ・ 運動
- ・ 作業

[自己調整]

- ・ 情動…情緒・感情・言動
(集団活動・行動・対人面・学習に影響)
- ・ 行動・対人関係



※情動面に課題があると、
学習／生活全般で大きな支援が
必要となる

[ことば]

- ・ ことばの理解／表出
(情動・行動・学習に影響)

※ことばの指導・支援が非常に大切

[学習]

【領域の構成】

[生活動作]

- ・運動
- ・作業

[自己調整]

- ・情動…情緒・感情・言動
(集団活動・行動・対人面・学習に影響)
- ・行動・対人関係

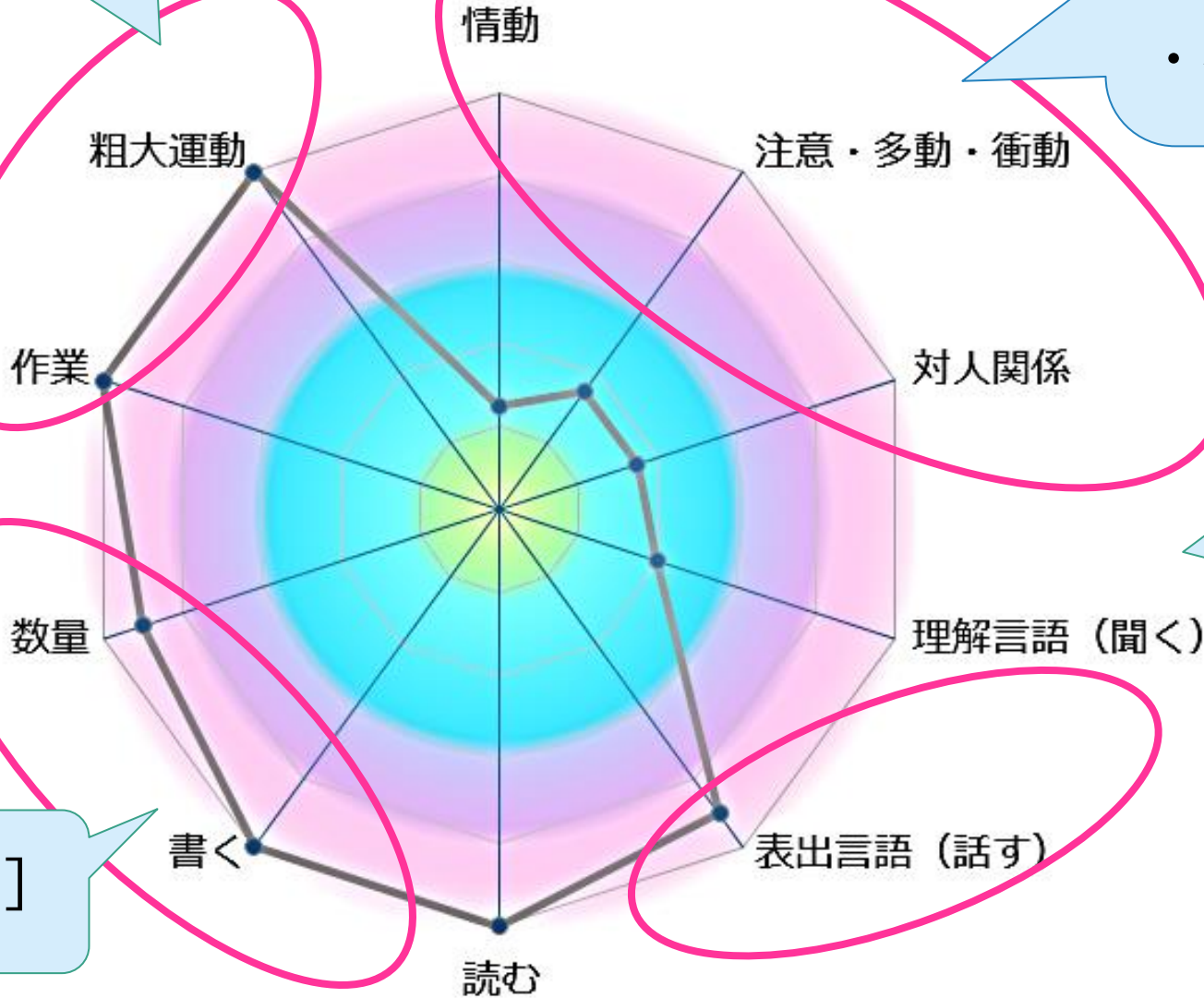
※情動面に課題があると、
学習／生活全般で支援を要する

[ことば]

- ・ことばの理解／表出
(情動・行動・学習に影響)

※ことばの指導・支援が非常に大切

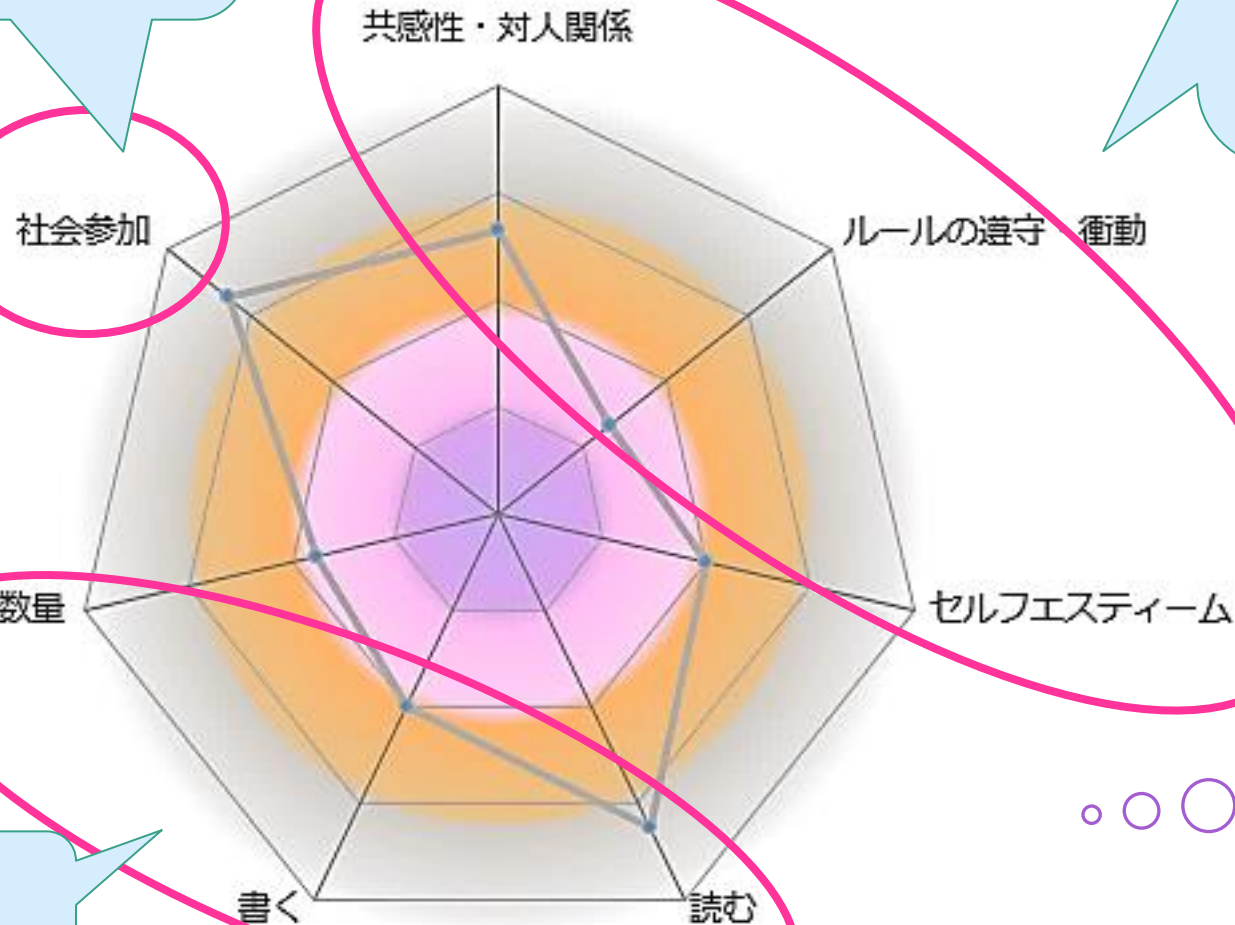
[学習]



【領域の構成】

[社会参加]
集団参加を含む

[自己調整]
・精神面に関連
・社会適応
・情動／行動／対人関係



※[自己調整]に課題があると、
学校・社会生活全般／適応に
大きな支援が必要となる

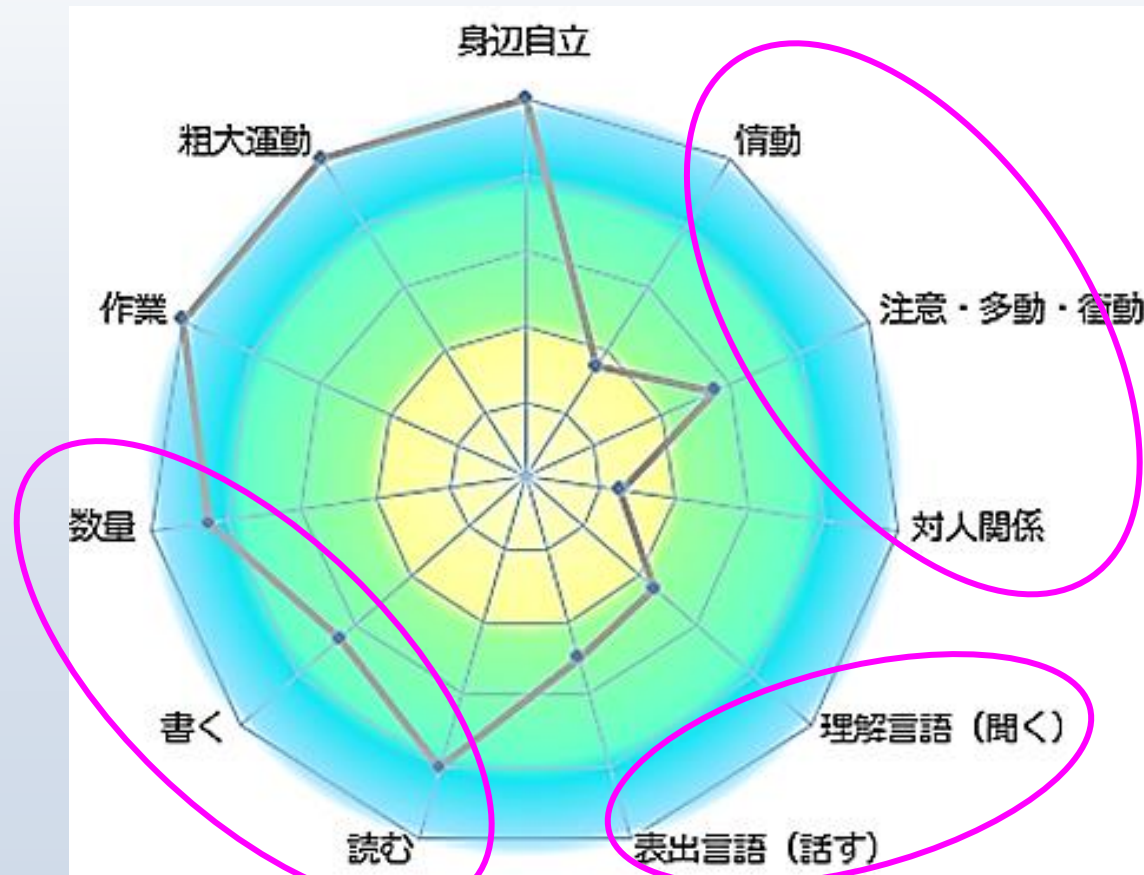
[学習]

療育手帳の無い
生徒の需要を受けて、
現在改訂中

～「個別最適な学び」へ：発達特性から、子どもの強みを活かす～

A²アセスメントの結果からみえること

環境との相互関係の中での、子どもの実態
(認知特性・強み・支援ニーズ) が反映される



(認知特性が反映される)

自閉スペクトラム症 (例)

【診断基準】

- ・ 対人コミュニケーション
- ・ 反復行動 / こだわり

(感覚過敏・混乱への配慮)

特別支援学校学習指導要領

自立活動の主な関連区分と、学習カリキュラム評価

【学習指導要領の段階】

高等部 2 段階

高等部 1 段階

中学部 2 段階

中学部 1 段階

小学部 3 段階

小学部 2 段階

小学部 1 段階

健康の保持・
身体の動き

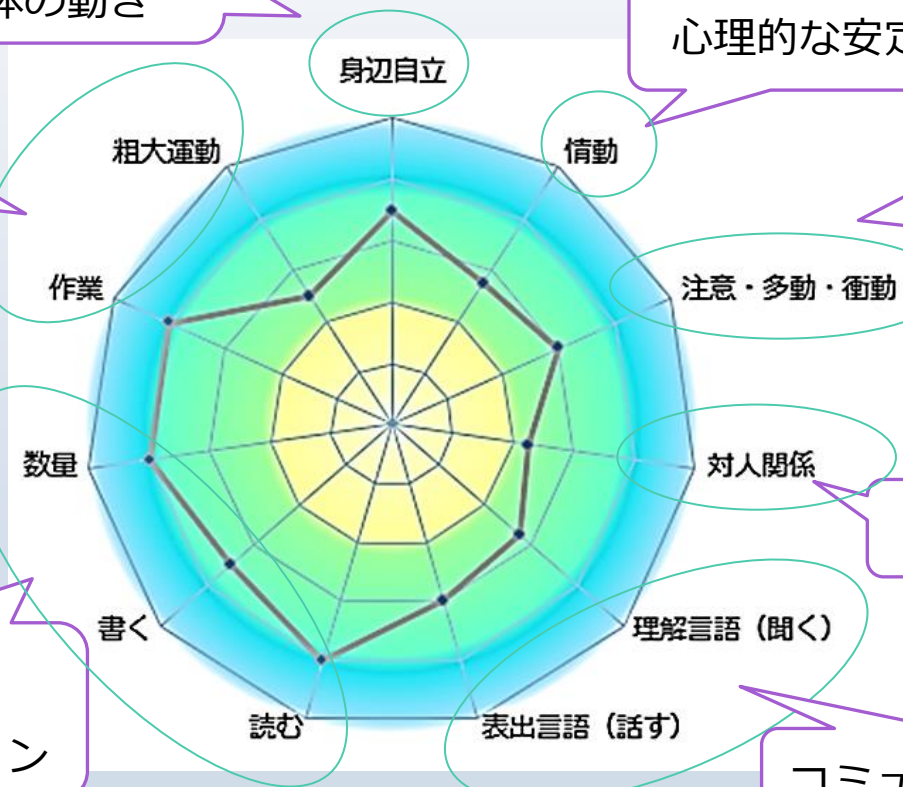
心理的な安定

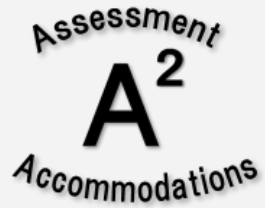
身体の動き

環境の把握・
心理的な安定

環境の把握・
コミュニケーション

コミュニケーション





ご質問・ A²研修等のお問い合わせ

A²研究会：2iepss@gmail.com

事務局：岩山カイナ

引用・転載の際は、上記アドレスまでお知らせください
著作物の無断複製・改変などの行為は、著作権法の例外を除き禁止されています